

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日 R5.8.14

担当 課名 にぎわい創出課

グループ名 地域振興グループ

記入者名

1 事業概要

(1)事業名	観光施設等管理事業費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	政策事業							
(4)第5次総振での位置づけ	(5)予算・財源等の別											
①基本目標	活力ある産業のまち(産業の振興)	①会計区分	一般会計									
②大項目	観光	②財源区分	町単独									
③中項目		③予算科目	款	7	項	1	目	3				
④施策		④予算事業名	観光施設等管理事業費									
⑤施策コード	6.4.0.0	掲載ページ	105	ページ								
(6)実施根拠	(7)総合戦略											
①事務分類(自治・受託)	自治事務	①総合戦略 (該当事業名)	無									
②根拠法令		③事業期間	開始	不明	年	月	から	終了	未定	年	月	まで

2 事業の目的・対象及び内容

(1)目的(何のために行うか)	(3)手段(内容・どのような取り組みか)		
来訪者へ安全で快適な観光施設と正確な情報を提供することにより町に対する印象と信頼を高め、交流人口の増加による町の発展に寄与する。	ハイキングコース道標、東屋、観光案内板、公衆トイレ等の観光施設の維持管理を行う。仙元山見晴らしの丘公園については、指定管理者制度による運営を行う。		
(2)対象(誰に対して、何に対して行うか)	(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)		
・観光客(国内外) ・町民 ・事業者	来訪者を増加させることが農業や商工業の発展に繋がるとともに町への移住のきっかけにもなることから、町の活性化が期待できる。		
対象数	入込観光客数	単位	人

(5)事業を取り巻く環境(社会環境、町民ニーズ等)、団体、議会等からの要望など

・公衆トイレ清掃費、ハイキング道除草費等の維持管理費用の抑制、施設破損や倒木等の不具合状況の早期発見のためには、行政区や地域住民の協力が不可欠である。  
 ・スマートフォンの所持、カーナビゲーションの普及等のデジタル化が急激に進んだものの、道標や案内看板等のアナログ的な整備は、未だに求められるものである。平成14年～16年度に整備した木製道標の各所で劣化が進行しており、また、観光案内看板の情報が古くなっているため、再整備のための財源の確保が課題となる。  
 ・地域資源とは、施設の適切な維持管理を含めて評価されるものであるため、相応の町負担が必要となる。

(6)SDGsへの貢献



3 事業のコスト(実績・予算・決算) (単位:千円)

項目	(1)事業(内容)名称	観光施設等管理事業費						
		決算・予算年度	R元年度決算	R2年度決算	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算	
(2)事業費内訳	見晴らしの丘指定管理料		3,105	3,058	3,370	3,370	3,370	
	各種管理委託料		2,350	2,073	2,587	2,526	2,588	
	光熱水費		448	388	412	363	460	
	土地等借り上げ料		642	642	642	642	643	
	修繕工事費		10,285	11,640	3,369	2,593	1,968	
	その他		693	1,079	381	376	371	
	直接事業費合計		17,523	18,880	10,761	9,870	9,400	
	(3)財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0
		県支出金		0	0	0	0	0
		地方債		7,600	5,700	0	0	0
その他特定財源			0	1,500	1,500	1,200	800	
一般財源		9,923	11,680	9,261	8,670	8,600		
合計		17,523	18,880	10,761	9,870	9,400		
(4)補助金名			まちづくり寄附金	まちづくり寄附金	まちづくり寄附金	まちづくり寄附金		
(5)人件費								
投入職員数		0.8	0.8	0.8	0.8	0.8		
年間人件費		6,173	6,111	6,102	6,034	6,158		
(6)総事業費		23,696	24,991	16,863	15,904	15,558		
サービス量(人)		762,529	383,563	494,799	699,362	720,000		
サービス単価		31.1	65.2	34.1	22.7	21.6		
(単位)			円/入込観光客1人当たり					

4 指標の検証(活動指標・成果指標)		観光施設等管理事業費				
指標名		単位	R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算積算	
(1)活動指標(実施した事業の量:回数、延長、面積等)						
指標名		目標値				
		実績値				
		達成率				
		目標値				
		実績値				
		達成率				
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度:人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等)						
指標名	入込観光客数(総振目標指標p106) R7年度目標値 780千人/年	目標値	千人	780	780	780
		実績値	千人	495	699	
		達成率	%	63.5	89.6	
		目標値				
		実績値				
		達成率				
(3)その他指標に現れない成果						
5 事業評価						
(1)項目別評価						
評価項目		評価	評価理由	評価した理由を選択してください。		
必要性	事業の必要性	1 1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	2	1 事業の実施が関係法令等で定められている		
				2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である		
				3 その他( )		
妥当性	実施主体の妥当性	2 1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	3	1 事業の主体が関係法令等で定められている		
				2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である		
	3 その他(民間と行政との協働実施が可能)					
手段の妥当性	1 1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している			
			2 他に有効な代替手段が見当たらない			
			3 その他( )			
効率性	コスト効率性 人員の効率性	2 1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している		
				2 サービス単価を維持している		
				3 その他( )		
公平性	受益者の偏り	2 1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	2	1 公平に分配されている		
				2 おおむね公平に分配されている		
				3 その他( )		
有効性	成果の向上	1 1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	2	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている		
				2 成果指標は、前年度より向上している		
				3 その他( )		
進捗度	事業の進捗	1 1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した		
				2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した		
				3 その他( )		
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。)						
・施設の長寿命化のためにも部分補修や塗装等のメンテナンスを計画的に実施する必要がある。						
6 事業の方向性の判断		1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合				
評価主体	(1)一次評価 (担当課長)	(2)二次評価 (政策推進課長)	(3)最終評価 (町長)			
評価	2					
説明	施設を安全に利用してもらえるよう、地域住民の協力も得ながら適切な維持管理に努めていく。					